

みやまえナビ NO. 9

秋を楽しむ…その2

宮前小学校学校だより 2014. 11. 21



学校長 内田敏夫

前号に続き「秋(アキ)を楽しむ…」をお伝えします。

さて、秋と言えば真っ先に思いつく言葉にどのようなものがあるでしょうか。

私は、勉強の秋、収穫の秋、食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋、秋の夜長を楽しむ等…あつという間にいくつか口に出ます。また、秋は、「アキ」と読み、様々な格言に用いられたり、色んな言い回しや読み、言葉の意味に用いられたりしています。『あき』を漢字で表すと「飽き」、「空き」、「明き」、「安芸」、「開き」、「厭き(いやになること)」…など意味による違いや地名なども入れるとたくさん漢字で表現できます。

秋の意味は、広辞苑によれば、①収穫が飽き満ちること、②穀物の収穫の時期のこと、③草木の葉が紅くなること…、等の意味が記載されています。また、秋という文字を使った言葉には、様々な意味があり、いくつか紹介すると…

- ① **秋の鹿は笛に寄る**(意味：秋の鹿は、鹿笛にだまされて簡単によってくる。…すなわち、弱点に乗じられやすいこと。)
 - ② **秋上がり**(アキアガリ…意味:稲刈りの取り入れが終わったこと。)
 - ③ **秋上げ**(アキアゲ…意味:稲作が不良のため、秋になってコメの値段が高くなること。)
 - ④ **秋袷**(アキアワセ…意味:昔の人は着物を常時着ていたことから、秋になり単(ひとえ=一枚のうすい着物)では冷えるので、裏地付きの着物を着ること)
 - ⑤ **秋買い**(アキガイ…意味:秋にモノを仕入れて冬の商売の準備をすること)
 - ⑥ **秋変**(アキカエシ…意味:いったん売買が済んだ後に、その取引を取り消したり変更したりすること)
- …等があります。

また、次のことわざは、秋と書いて「トキ」と読みます。

危急存亡の秋(キキウソンボウノトキ)です。「秋」は収穫期の意味を指すことから、大切な「とき」を指します。意味は、切迫した危機のたとえとして使われます。すなわち、存続するか滅亡するかの重大な瀬戸際を指します。

今、宮前小学校では、子どもたちばかりでなく私たち教員も、学力や体力を高めるために「**危急存亡の秋**(キキウソンボウノトキ)」と自覚し、鋭意努力しています。本校の教職員は、十一月に入り、土日も返上で研究発表会に参加して資質を伸ばしたり、授業研究のための教材研究をしたり、子どもたちのスポーツ大会の指導にあたりと獅子奮迅の活躍をしています。



こういう忙しい時こそ、「忙中閑あり(ボウチュウカンアリ)」の意味をかみしめながら、秋を楽しみたいものです。

「忙中閑あり」とは、…どんなに忙しい中にも、わずかな暇はあるものだということです。「忙中」は、忙しいさなかと言う意味であり、「閑」は、暇の意味です。

私は、忙しい時こそあえて本を読んだり、自然の移ろいを楽しんだりします。僅かな凜とした時の流れは、私たちのストレスを浄化し明日への気力を奮い立たせてくれるものです。「忙中閑あり」…を合言葉に大人も子どもも頑張りたいものです。

前号では、スポーツや文化的な活動で活躍した子どもたちを紹介しました。今回も、新たに素晴らしい結果が届いたので紹介いたします。

11月4日に行われた和歌山市陸上競技選手権では、6年生南方美羽さんが100m走で13秒83で優勝。走り幅跳びでも4m36の好記録で優勝しました。

また、第73回全国教育美術展に本校から多数出品したところ、次の人が賞をいただきました。入選は…2年生堀江晃平さん、3年生河里夏妃さん・橋本朋弥さん、4年生荒岡直人さん、大澤亮輔さん、5年生栗林咲さん、6年生藪下風翔さん。続く佳作には、1年生小川愛梨さん、2年生畑中美輝斗さん、5年生田中美瑚さん・福田綾音さん。そして特選には、4年生熊本阿槻さん、5年生椎崎巴菜さんが選ばれました。このように優勝したり賞をいただいたりした本人はもちろんのこと、私たち教職員もとても嬉しく名誉なことだと思っております。

さて、11月に入り、たくさんの方々が本校を訪れて下さっています。来週の25日には、和歌山県図工・美術教育研究大会を本校で開催いたします。和歌山県下のたくさんの方をお招きし、子どもたちの造形教育の一端を見ていただきます。1年生塚田学級、3年生川嶋学級、5年生野上学級で研究授業を行います。子どもたちの頑張りは言うに及ばず、先生方の意欲的な指導も楽しみです。この研究発表会に先立って、22日(土)、23日(日)の両日、和歌山県学校美術展(こども県展)が本校体育館で行われます。和歌山県下の子どもたちの素晴らしい作品が見られます。ぜひとも見ていただければと思っております。

続く28日には、本校体育館で「オペラの集い」を開催いたします。本格的なオペラの曲から、クラシック、ミュージカルメドレー、ディズニーメドレーなどを予定しています。ソプラノは久保美雪さん、バリトン坂上洋一さん、ピアニストは南なほきさん、そしてナレーションは中川結衣さんです。私と久保美雪さんとは二十数年来、南なほきさんとは久保さんを介して数年のつき合いがあります。素晴らしいピアノの調べに乗って迫力のある歌声、とても楽しみです。

保護者の皆様方もぜひとも当日体育館に足を運んでいただ

ければと思います。開演は、10時40分からですので、10時30分までに体育館に入っていれば幸いです。

